

大学生の自己教育力に関する研究(2) — 性差の検討

○石田 潤 清水益治 森 敏昭
(神戸商科大学) (大阪樟蔭女子大学) (広島大学)

【目的】 本研究の目的は、先に作成した質問紙を用いて、大学生における自己教育力を、現在、中学生頃、小学生頃と回想的に測定し、その性差と時代差を調べることである。

【方法】 調査対象 4年制大学5校の学生計526名(うち男子230名、女子296名)。

調査項目 大学生の自己教育力に関する研究(1)で作成した質問紙。この質問紙は、現在、中学3年生頃、小学6年生頃の3つの時代における自己教育力を課題意識、主体的思考、学習の仕方、自己評価、計画性、自主性、自己実現の7つの特性について、それぞれ5項目ずつで測定するものであり、各項目は「はい、いいえ」の2件法で答えるようになっている。

手続 平成11年12月に、各学校の教室で、現在用、中学用、小学用、およびその他の質問紙を閉じた冊子を配布して、記入を求めた。

【結果と考察】 各項目について「はい」を1点として、時代ごとに自己教育力得点(0~35点)を算出した。その平均値(標準偏差)が表1の最右列である。性×時代の分散分析を行ったところ、両主効果が有意であった。性の主効果では女子が男子よりも平均値が高かった。時代の主効果では現在と中学時代が小学時代よりも平均値が高かった。交互作用も有意であり、中学時代と小学時代ではいずれも女子が男子よりも平均値が高かったが、現在では有意差はなかった。また女子では現在よりも中学時代の方が平均値が高かった。

次に特性ごとに自己教育力得点(0~5点)を算出し(表1参照)、性×時代の分散分析を行った。課題意識では両主効果が有意であり、女子が

男子よりも、また中学時代>現在>小学時代の順に平均値が高かった。主体的思考では時代の主効果が有意であり、現在>中学時代>小学時代の順に平均値が高かった。交互作用も有意であり、現在でのみ性差が有意であった。また女子では中学時代と小学時代の間有意差はなかった。学習の仕方では両主効果が有意であり、女子が男子よりも、また中学時代>現在>小学時代の順に平均値が高かった。自己評価でも両主効果が有意であり、女子が男子よりも、また中学時代>現在>小学時代の順に平均値が高かった。計画性でも両主効果が有意であり、女子が男子よりも、また現在>中学時代>小学時代の順に平均値が高かった。自主性では時代の主効果が有意であり、小学時代が現在と中学時代よりも平均値が高かった。交互作用も有意であり、時代差は女子でのみ有意であった。また小学時代には女子が男子よりも平均値が高かった。自己実現では両主効果が有意であり、女子が男子よりも、また現在>中学時代>小学時代の順に平均値が高かった。交互作用も有意であり、中学時代と小学時代では女子が男子よりも平均値が高かった。

以上の結果は次のようにまとめることができる。
①全体としては女子の方が男子よりも自己教育力が高いが、特性による差があり、自主性と主体的思考では性差は有意でない。
③時代差は特性による差が大きく、現在が高い特性(主体的思考、計画性、自己実現)、中学時代が高い特性(課題意識、学習の仕方、自己評価)、小学時代が高い特性(自主性)がある。

表1. 領域ごとの平均得点(標準偏差)

	課題意識	主体的思考	学習の仕方	自己評価	計画性	自主性	自己実現	合計
現在 男	2.3(1.5)	3.1(1.4)	3.1(1.2)	3.0(1.2)	2.6(1.6)	2.5(1.3)	3.7(1.4)	20.3(5.9)
現在 女	2.6(1.4)	2.8(1.4)	3.4(1.1)	3.2(1.2)	2.9(1.5)	2.4(1.3)	3.9(1.2)	21.2(5.0)
現在 平均	2.5	3.0	3.3	3.1	2.7	2.4	3.8	20.7
中学時代 男	2.9(1.6)	2.5(1.5)	3.2(1.4)	3.6(1.4)	2.2(1.6)	2.4(1.8)	3.3(1.6)	20.0(7.2)
中学時代 女	3.5(1.4)	2.4(1.5)	3.7(1.2)	4.0(1.1)	2.7(1.5)	2.4(1.7)	3.7(1.3)	22.5(5.9)
中学時代 平均	3.2	2.4	3.4	3.8	2.5	2.4	3.5	21.2
小学時代 男	1.8(1.6)	2.2(1.5)	2.2(1.4)	1.9(1.7)	1.3(1.5)	2.6(1.9)	2.6(1.7)	14.6(8.0)
小学時代 女	2.3(1.5)	2.3(1.4)	2.6(1.4)	2.4(1.5)	1.8(1.5)	2.9(1.9)	3.0(1.5)	17.5(6.6)
小学時代 平均	2.1	2.2	2.4	2.2	1.5	2.8	2.8	16.0
平均 男	2.3	2.6	2.8	2.8	2.0	2.5	3.2	18.3
平均 女	2.8	2.5	3.3	3.2	2.5	2.6	3.6	20.4

平均は重みをかけない値
一連の研究は文部省科学研究費(基盤研究(B)-(1),課題番号:11410032)の補助を受けた。